



# 第19号

## 聖徳学園

# ひじり



発行所  
 ●聖徳学園高等保育学校同窓会  
 ●聖徳学園短期大学教員養成所同窓会  
 ●聖徳学園短期大学附属教員採用養成所同窓会  
 ●聖徳大学幼児教育専門学校同窓会

〒108-0073  
 港区三田3丁目4番28号  
 電話03(5476)8811代表

聖徳大学幼児教育専門学校ホームページ  
<http://www.seitoku.jp/ktcsu/>

## 学園葬

学校法人 東京聖徳学園 理事長・学園長、聖徳大学・聖徳大学短期大学部 学長川並弘昭は、かねて病氣療養中のところ5月30日 午前4時30分に永眠いたしました。(享年78歳)  
 ここに生前のご厚誼を深く感謝致しますとともに、謹んでお知らせ申し上げます。なお、学園葬が、6月26日聖徳大学にて執り行われました。途切れることのない弔問の列が、生前の行跡を偲ばせる学園葬となりました。



### ご挨拶

前理事長  
川並 弘昭



### ご挨拶

校長  
川並 光昭



### ご挨拶

理事長・副学園長  
川並 弘純



### ひじり会 会員の皆様へ

会長  
高橋 博子



ひじり会創立50周年おめでとうございます。あれから50年が経つてしまつたとは思えぬ程、早く時間が過ぎたように思ひます。両親も健在で父香順は60代、母孝子は50代で、私は20代のことでした。初代会長は、両親の推薦により市川市在住の宗方綿子様でした。とても意思のしつかりした方で、ひじり会を支えてくださりました。2代目会長は本学保育科教授の田中シンゲ子先生で、講演会や講習会の活動が始まりました。3代目の現会長は、東京芸術大学を卒業後、本学に入学された高橋博子先生です。高橋先生は、現在でも短期大学部保育科の教授として活躍中です。当初はひじり会の役員は、私立幼稚園の勤務者や公立幼稚園の勤務者などで構成されました。時代を重ねていくうちに、中心になつてくださった役員も定まり、組織的な運営がなされていき、喜ばしく思っています。20年前より、海外旅行や国内旅行を毎年夏に続けており、私も欠かさず参加させて頂きました。旅行をして驚きました。どこの地でも卒業生たちが活躍していることでした。北海道の果ての礼文島でも、第2回卒業生の方が港にお出迎えしてくださりました。今年第67回目の卒業式が挙行され、卒業生は13,140人もおられます。ひじり会も組織も磐石なものになり、今後ますますのご活躍を期待しております。

同窓会、50周年おめでとうでございます。発足以来半世紀、世の中の様々な出来事を見つめてきた同窓会も人の輪が広がり卒業生が13,000名になりました。3月11日の東北太平洋沖地震、マグニチュード9.0という大変大きな地震と津波で被災された方、残念ながら亡くなった方、一日も早い復興と、ご冥福をお祈りいたします。すっかりご無沙汰致しましたが前号の「ひじり」のご挨拶で専門学校の入学人数の減少につき是非入学者のご紹介をお願い申し上げましたところ、平成23年度は入学者103名と、この数年では大変多くの学生を迎えることができました。ご協力ありがとうございました。近年様々な所で学生の生活の在り方が問われておられます。生活態度、言葉遣い、服装、規範意識の無さ、善悪の判断力等々数え上げられればきりがありませんが、1年次の附属幼稚園での実習では、保育者としての基本をしっかりと取り足取りで教えて頂きそれを足掛りとして多方面での実習により以上保育者としての資質をしっかりと学び、身につけ、全員何らかの形で就職していき職場では、明るく元気な挨拶がしつかり出来ると真面目に仕事が出来ると評価して頂き、是非聖徳の卒業生をと言つて頂きます。これも卒業生の皆様が良い仕事をし、信頼関係を結んで頂けるからです。今後ともご支援よろしくお祈りいたします。

ひじり会が50周年というおめでたい年を迎えるに当たりお祝いを申し上げます。まずは、3月11日の東日本大震災、津波、福島原子力発電所の天災、人災により被災された方、ひじり会の会員の皆様、または関係の方々にもいらつしやると思ひます。心よりお見舞いを申し上げます。そして、改めてひじり会50周年をお慶び申し上げます。専門学校と幼稚園から始まった聖徳学園は創立78周年を迎え、和裁から始まった専門学校も昭和19年から保母養成に着手して以来、本年3月には13,000名を超える卒業生を輩出しました。また、数年前には廃止も視野に入れて議論されてきた入学生数の減少も、教職員一丸となった改善へ取り組んだ結果、平成21年度入学生50名を底に、本年度入学生103名まで回復することができました。高等教育の中心は大学、短期大学に移っておりませんが、「保育の聖徳」の発祥であり、その伝統を培ってきたこと、ひじり会会員の皆様一人ひとりであり、聖徳学園の幼児教育の精神的な拠り所でもあります。

本年3月11日、東日本大震災によって、多くの方々がお困りのことと聞き及んでおります。仙台にお住まいの同郷生ひじり会の方とも地震発生後、1週間経つてようやく電話が通じ、無事が確認されましたが、多くの罹災された会員の方々にお見舞い申し上げます。さて、同窓会ひじり会は、昭和35年度の卒業生によって、創設され今年50周年を迎えることができました。学園長先生、校長先生はじめ、諸先生、事務局そして、全国の同窓生の皆様のご支援のおかげと、心より感謝申し上げます。毎年恒例の「夏のリズム講習会」も、夏のリズム講習会、今年30回目を迎えます。また、海外国内への研修旅行は昨年20回目を果たすることができました。今年21回目、「北海道への研修旅行」を予定しております。記念すべき節目の年を迎えた今年度の行事に、9月の総会をはじめ種々の催しに、会員の皆様のご参加をお待ち致しております。厳しい世相となつていますが、学生時代、母校の思い出を胸に旧友との再会を楽しみに致しております。



### 〈学園長先生を偲んで〉 川並弘昭先生・知子先生ご夫妻を祝う会 〜川並知子先生叙勲・川並弘昭先生喜寿記念〜

「川並弘昭先生・知子先生ご夫妻を祝う会」が平成22年10月30日(土)、グランドプリンスホテル新高輪・国際館パミール「北辰」において、500人を超える方々にご出席いただき盛大に開催されました。

この会は、附属幼稚園園長、第2幼稚園・第3幼稚園・浦安幼稚園園長、短期大学部保育科教授である川並知子先生の瑞宝小綬章受章および私立学校審議会委員功労者文部科学大臣表彰ならびに川並弘昭理事長・学園長先生の喜寿の祝賀会として催されました。

川並弘昭先生は、平成15年に勲三等旭日中綬章を受章なされています。当日は台風14号が接近する生憎の悪天候でしたが、ご夫婦揃いでのご受章というこの稀な慶事に、列席者一同晴れやかな雰囲気の中、取手聖徳女子中高等部総務21名による奏楽(曲名「S AKURA」)により華々しく開宴いたしました。

発起人代表である松島鈞副学園長ならびに附属幼稚園聖和会会長の嶋崎康子様よりご挨拶をいただき、続いて全千葉県私立幼稚園連合会元会長であり、学校法人ちぐさ学園理事長の井元詔一先生ならびに、聖徳大学名誉博士・客員教授・元参議院議長の倉田寛之先生からご祝辞を賜りました。川並知子先生の幼児教育にかけた思いとその功績を挙げられ、「この受章は当然のことであり、ご同慶の至りであります」とお話しになりました。

川並知子先生はご祝辞を受けて、「偏に皆様方のおかげです」と感謝の言葉を述べられ、さらに、「幼児教育は樹木で言うところの根の部分にあたり、外から見えず評価しにくいものですが、健康が続く限り努力し続けていきます」とお話しされました。

続いて川並弘昭先生がご挨拶なされ、

「大学1号館の図書館が遂に完成し、学生が夜遅くまで利用してくれているのを見てとても嬉しく、少子化で私学は厳しい時代を迎えているが、これからは内部の充実を力を入れていきたい」と述べられました。

乾杯は、夫と妻を愛する「高砂」の舞をご披露くださった理事の石井傳一郎先生による音頭で、「ご夫妻が100歳になられた時、もう一度お祝いしましょう」とクラスを合わせました。

終始和やかな雰囲気の中、シッティングビュー形式で歓談が行われ、途中ご夫妻の授章式の様子が大きくスクリーンで上映されました。

上映後、大学後援会会長の星野伸之様からは、「幼児教育は人間形成にとって大事である。日本のために今後も活躍なさってほしい」と、さらに松戸市私立幼稚園連合会会長の鈴木悦郎先生からは、「日本の伝統文化を日本一大切にする学園であってほしい。皆さんの力で聖徳を盛り上げていただきたい」とご祝辞を賜りました。

最後に、花束と記念品の贈呈が行われました。川並知子先生には、附属幼稚園父母の会会長の村田由起江様、ならびに附属第2幼稚園父母の会会長の手塚恭子様より、川並弘昭先生には、お孫さんの仁美ちゃんとお久君よりそれぞれ手渡され、記念撮影を行いました。そして、発起人代表である附属幼稚園園長補佐の鈴木俊子先生よりお礼のご挨拶があり、閉会となりました。

今回の川並弘昭先生・知子先生のご功績は、お2人が力を合わせて教育の理想を追求されたことにより、達成されたものです。両先生に心からご祝い申し上げ、今後の益々のご健勝と活躍を祈念申し上げます。

学園報11月号より抜粋



## 50年の歩み



**私の学生時代**  
昭和35年度卒業 川並 知子

ひじり会創立50周年おめでとうございます。この会は私の卒業時に結成されたものです。私達の学年は、とても明るく、お茶目さん揃いで、何事にも結束したクラスでした。ですから、いろいろな思い出があります。授業の30分前に集まり、学生用玄関の大きな鏡を覗いたり、忘れ物らしき上履を香順先生には内緒で(香順先生は処分が嫌いでした)園庭のドラム缶でヒヤヒヤしながら、焼却したりしました。

私達が在学しておりました時は高度経済成長の前で、まだまだ貧しい時代でした。そんな時に4泊5日の修学旅行のプランが持ち上りました。4つくらいはプランがありました。みなさんの総意で、中国、四国地方に参りました。「旅のしおり」はガリ版刷りのびきの用紙に鉄板の上で鉄筆でかき、1枚1枚、ローラーで手刷りしていく方法)で学生で作りました。現在、「修学旅行のしおり」として使われているものとはほぼ同じです。

卒業時になって、同窓会をつくることになり、他校の同窓会々則を集めて、学園側の多大な協力を得て、具体的にすすめられました。発足にあたって、まず資金が必要で卒業式までに徴収しなければなりません。1部生の方はスミスにまとまっていたのですが、2部生の方から強力な反対意見が出、その折り合ひをつけるのに、時間と労力を費やしました。苦勞の甲斐があつて全員の入金金が完納されやとスタートしたのです。次年度からは何事もなく、優しさを表現したくてひらかなで「ひじり会」と名付けました。

このひじり会が将来の短期大学、大学の同窓会「香和会」へと繋がっていったのです。

**私と聖徳学園**  
昭和23年度卒業 宗方 錦子

昭和22年、私は福島県の片田舎に住んで居りました。ある日の新聞で聖徳学園高等保育学校の生徒募集が目に入り、アツク思いました。即学校に筆をとりました。折り返し香順先生から入学の知らせがありました。折り返し香順先生から入学の知らせがありました。折り返し香順先生から入学の知らせがありました。折り返し香順先生から入学の知らせがありました。

1年間月謝だけは働いてつづけて3年4月に正式に入学、学校へ行きました。当時の東京は戦後の事としてそれはそれはひどいものでした。空襲にもあわず食料にも貧乏せず上京した田舎者でした。私は頑張りました。

卒業時に香順先生からの薦めで品川にある音楽学校に新しく開園された幼稚園の任につきました。1年後輩の上野(山口)や先生とはよく気が合ひ音楽学校の附属に無事入すことになった。香順先生(音楽)の厳しいピアノの指導のたまもの。その後当時日本の公立幼稚園の長でいらした山村千よ先生のお声がかかりて幼児心理学者の山下俊郎先生が園長として開園された幼稚園に勤めることとなりました。

聖徳出身は香順先生と奥様の孝子先生として生徒の数より多かった素晴らしい先生方のお恵みがあり幸せな幼稚園時代でした。85歳の現在、日本手芸芸美術協会の副会長として創作紙人形の分野で頑張っております。

**私が寮生活で学んだこと**  
昭和41年度卒業 落合 和子

資格試験で保育資格を得た私は子ども心理や発達段階についての知識不足をいつも感じていました。もうすぐこの知識を身につけなければならぬ6年間という公立保育所を退職して聖徳を受験しました。高輪寮に入寮しました。ここには北は北海道、南は沖縄の人達がいました。その頃はまだ沖繩が日本に返還されていなかった。ある日寮生が日本に返還されていなかった。ある日寮生が日本に返還されていなかった。ある日寮生が日本に返還されていなかった。

寮では学長先生ご一家のこころくばりが感じられました。春と秋には旅行、クリスマスには大きなケーキを用意してくださり、クイズやプレゼント交換など楽しい催しものをしてくださり、寮生にふるさとを離れていくさびしさを感ぜさせないようになつた学長先生一家の思いやりに感ぜさすことができ、私に「和」の大切さを身をもって教えてくださりました。私は聖徳で学んだ「二生学習」と「和」の精神が現在の私をささえていると思っております。私は現在孫たちと一緒に大学生活を送っています。私の孫のような教授、ゼミの仲間と何のこだわりもなく学生生活を送れるのも聖徳の「和」の精神が身に付いているためだろうと思っております。聖徳に深く感謝しております。

**教員養成所の思い出**  
昭和42年度卒業 塩 美佐枝

企業を退職して何か自分にあつた仕事をしたいと考え、幼稚園の教師になりたいと思ひ、松戸の教員養成所の2部に入学しました。前職の引き継ぎが6月までかかり、授業開始が午後4時だったため大変でしたが、走って学校に通っていました。

当時は松戸の校舎から駅が見えていました。夜の授業が終わると階段を全速力で駆け降りたものです。昼間の空いている時間帯は、私立幼稚園の助手をして、2年次は公立幼稚園の無給の助手をさせていただきました。学校では、折り紙の手技帳、ピアノ、ダンスなどがいっぱい記憶があります。ダンスの発表会では、高熱が出て欠席してしまいました。友達を着物として着るために、私が7歳で着た着物を貸してあげました。結局、その友人の家が火事になり、着物は戻ってきませんでした。いろいろなことがあつた2年間でした。

川並香順先生のご逝去され、1学生だった私もショックが大きく、悲しかったことを覚えておきます。孝子先生から卒業証書を見たとき、学んだことを支えに以後32年間、幼稚園にかかわって遺り甲斐のある仕事をさせていただきますました。私にとつてとても大切な2年間です。

**学園歌によせて**  
昭和41年度卒業 深澤 保子

ひじり会50周年おめでとうございます。やさしいかわし 菊水の 清きしるしに 誓ひたて 明日をめざして あたらしく……

2年間の学園生活を通して、学びとともにたくさんのお出合いが思い出として私の宝物になつています。中でも学園歌との出会いは今尚私の保育人生をささえています。東京オリンピックの翌年学園に入りました。高校時代は、音楽にはあまり関心がなかったのですが、当時どんな歌が流行していたか記憶がさだかではありません。でも、学園歌だけは、しっかりと心と体に焼き付いています。あの頃、孝子先生は三田幼稚園で、幼児に語りかけるように歌っていた姿が印象的でした。学生生活では、空気の澄んだ志賀高原での歌声は、一段と綺麗にひびきました。

はじめ子どもの前に立って、保育者としてどうしたらよいか不安と緊張の入園式で、ふつと学園歌をおもいだしました。早速心の中で口ずさんでみると、次第に歌詞のように顔がほころびてきました。理屈ではなくこの学園歌の素晴らしさに気づかされた。そして、現在保育所の理事として保育現場にいます。さらに聖徳の教壇に立たせていただけて、大好きな学園歌がと

# 川並弘昭先生・知子先生 ご夫妻を祝う会



50th  
ANNIVERSARY

## 聖徳大学幼児教育専門学校



昭和30年代



昭和40年代



昭和50年代



昭和60年代

**学生時代を振り返って**  
平成5年度卒業 赤羽 克子

1994(平成6)年に聖徳大学幼児教育専門学校第II部を卒業しました。そのころの田町駅周辺は再開発が始まりつつある年代であったと記憶しております。

現在、私は聖徳大学人文学部社会福祉学科で教員をいたしておりますが、公私共に充実度満点の生活を送る原点は「三田」だと思っております。特に担任の西田先生、諸先生方、学務課(当時)の皆様に見守られながら、個性豊かな友人たちと過ごした3年間にあります。

在学中の1年次にみんなで怒られた倫理学や集合時間に大遅刻したSOFIT、2年次は保育表現研究会に向けての苦勞・暗闘、3年次はピアノに明け暮れながらひたすら待った卒業などすべてが素敵な思い出です。聖徳大学幼児教育専門学校のさらなるご発展をお祈りいたしております。

**養成校の思い出**  
昭和57年度卒業 佐々木 さちよ

卒業して早20年がたちました。今こうしてペンを走らせながら沢山の先生方や仲間と学んだ事が昨日・今日のようには懐かしく思い出してきます。入学時、制服姿で集合し学校長から、基本は「挨拶」からと親共々再度声があり元気に心をこめて行いました。そして同じ目標で幼児教育を学び社会へと飛びたつて行く事とが分り、厳しい授業にも負けずに歩んでました。その中でも保育の実習に現場に入る勇氣は、本当に経験した仲間と語ることに出来るのが自分だけの戦いでした。又、大切な幼児期の関わりを育成させるために考えさせられました。子どもは、すごい視点を持っています。担任と実習生として理解して貰う。それは、ある面実母と他人の関係のようでもあり私もその点で、もの凄く保育は奥深い職業だと思いました。

学業の基本的保育・幼児教育の中での面を忘れず、時期的な修学旅行の北海道での自然間、先生方との触れ合いや会話と共に自然に接する大切な機会でした。仲間と共に自然に接する大切な機会でした。仲間と共に自然に接する大切な機会でした。仲間と共に自然に接する大切な機会でした。

**専門学校の思い出**  
平成16年度卒業 梅津 佐和子

専門学校を卒業して早6年が経とうとしています。今回「専門学校の思い出」と言うテーマで原稿を依頼されて色々な事を思い出して残っている事は「保育表現研究会」です。

「保育表現研究会」は、この専門学校にしようとした時からとても楽しみにしていました。オープンキャンパスで色とりどりの衣装と音楽に合わせて楽しそうに踊っている姿やテーマに沿って表現をしている姿のビデオを見て、私もどこか憧れを感じていました。

体育の授業でいよいよ活動が始まった時の事です。「保育表現研究会」を行う上で、テーマを決め、テーマが決まったら資料を集め、場面決めをし、曲・衣装と進めていくのですが実際にやっていくと自分か思い描いた様にはいきませんでした。大勢で1つの事を共にやり遂げるという事は、1人ひとり思いが違うのであって時には納得がいかず、けんかになる事もありました。自分の思いを我慢し、友達の気持ちに立って考えようとした友達や皆の気持ちよく間に合おうと解決しようとしてくれた友達等、誰が何の役割と決めた訳でもなく自然と1人ひとりがお互いを思い合っている方向へと向かっていく様に感じました。朝早くからの練習や昼休み、放課後の練習と、私は、余り苦と思つた事がなくむしろ「早く練習始まらないかな」と毎日かとも楽しんで仕方がありませんでした。「保育表現研究会」を通して皆で1つの事に向かっていたら自分分を更に沢山知ることが出来、自分自身プラスになった事も多かったです。

私は、ご縁があった三田3園の中の八王子中央幼稚園で働かせて頂いております。「保育表現研究会」という経験を、実際の社会に出て感じる事は、この職業という色んな人と連携をとり、互いに助け合う気持ちを持つ事が大切だと思います。保育の中では、集団行動が主となりますので、子どもの中には自分勝手になってしまうトラブルになる事もありますが、子ども達には、常にけんかをするという事は、相手がいる。相手があるんだという事は、知らず互いの思いが耳を傾け認め合える様に繰り返し導いておきます。「保育表現研究会」の経験は今でも私の中の基盤となつていく事だと思います。

う歌いだしたくなるのです。世の中がめぐるしく変化していますが、学園歌は、建学の心を歌声とともに永遠に伝えてくれています。これからも歌いつないでいきたいとおもいます。

総会・同窓会の1ヵ案内

さわやかな初夏の風が吹き抜ける季節となりました。ひじり会の皆様にはお健やかに過ごしてのことと思います。

の先生方が出席の予定です。総会後は、落合恵子先生の講演、懇親会では楽しいゲームの準備も進めておりますので、皆様も楽しんでいただけるものと思っております。

〔日 時〕平成23年9月17日(土) 17時( )

〔場 所〕アルカディア市ヶ谷 東京都千代田区 九段北4-2-25

〔会 費〕8,000円

アクセス JR中央線、地下鉄有楽町線・南北線、新宿線各駅市ヶ谷駅より徒歩2分



「落合恵子先生」講演

「子どもに学ぶ、子どもと生きる」…HUGの時空

\*落合恵子先生プロフィール\*

1945年、栃木県宇都宮市に生まれる。明治大学英米文学科卒業後、株式会社文化放送に入社、アナウンサーを経て、作家生活に入る。



また、食への関心も強く、自然食レストラン「HOME」を経営するなど、「食」の問題にも取り組み、幅広い活動を行っている。

第30回 リズム講習会

同窓会ひじり会主催の「リズム講習会」もおかげさまで30回目を迎えることとなりました。これもひとえに皆様方のおかげでございます。

〔日 時〕平成23年8月28日(日) 午後1時より

〔場 所〕聖徳大学体育館 (千葉県松戸校舎)

〔参加費〕2,900円 (テキスト代含む)

〔詳細、お申し込み〕聖徳大学幼児教育専門学校 03(5476)8811

専門学校のより

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか？ 専門学校では、ホームページを活用して、授業や行事の様子、保育に関する情報提供に努めております。

www.seitoku.jp/kttcsu/

平成20年度 決算報告

平成21年3月31日現在 (単位:円)

Financial statement table with columns for Income (収入), Expenses (支出), and Balance (繰り越し). Includes sub-sections for Maintenance Fund (維持金) and General (一般).

ひじり会 研修旅行の20年

平成3年(1991年)第1回「グリム童話のルーツを訪ねて」の研修旅行をスタートに、昨年で20回実施することができました。

- List of 20 annual study trips: 1st (Duits・オーストリアへの旅), 2nd (ニュージーランド・オーストラリアへの旅), 3rd (北イタリアから南イタリアへの旅), 4th (中国・上海・蘇州への旅), 5th (ベルギー・オランダへの旅), 6th (スペインへの旅), 7th (北欧への旅), 8th (イギリス湖水地方中心の旅), 9th (ポルトガル・スペイン(アンダルシア地方)), 10th (南仏の旅(モンテカルロ・ニース・カンヌ)), 11th (東・中欧の旅), 12th (ハンガリー・チェコ・スロバキア), 13th (中国(北京)への旅), 14th (北海道(利尻・礼文)への旅), 15th (ロシアへの旅), 16th (聖徳学園のふるさとを訪ねて(岐阜・飛騨高山)), 17th (オーストリア・イタリア(ドロミエ)の旅), 18th (カナダ(ロッキー山脈)の旅), 19th (台湾への旅), 20th (北海道(知床半島)), 21st (北海道(小樽方面)への旅).



第19回 北海道 阿寒湖にて

編集後記

川並弘昭理事長先生の訃報に接し、同窓生一同謹んでご冥福をお祈りいたします。ひじり会の歴史も立ち上り、早50周年となりました。この50年という長い歴史の中で、聖徳学園のグループは大きく成長し、まだまだ発展してまいります。聖徳学園の発行は、ここ三田の幼稚園、保育養成学校の学校なのです。

東京聖徳学園創立75周年記念事業募金寄付者芳名

創立75周年記念事業募金は平成20年9月に開始して以来、平成23年6月までに2,734件のお申し込みをいただき600,924,708円のご寄付を賜りました。(うちひじり会員48件 1,423,000円)

Table listing donors and their contribution amounts, including names like Takahashi Tomoko, Yamada Junko, and others.

「保育の聖徳」で培われた人材の登録と派遣をお手伝いいたします。

保育園や幼稚園の現場で働く喜びを味わった方々に、門戸を開いた人材派遣会社です。あなたと園を結ぶ架け橋として私たちのシステムをご利用ください。

許可番号 13-300726/13-コ-300913